

2024. 4. 24

THE DAILY ENGINEERING & CONSTRU

日刊建設工業

記事 電話03-3433-7161 mail-ed@decn.co.jp 購読 電話03-3433

発行所 日刊建設工業新聞社 〒105-0021 東京都港区東新橋2-2-1

全構協

鉄骨製作図作成

工程遅延の負担増など

国交省らに是正要望

全国鉄構工業協会（全構協、永井毅会長）は22日、工程遅延に伴う負担増加など鉄骨製作図の作成を巡る

諸問題について、国土交通省や日本建設業連合会（日建連）ら4者に是正と解消を要望した。図面製作に関する要望は初めて。永井会長らが東京都内で日建連と全国建設業協会（全健）、国交省、中小企業庁に対し問題点をまとめた要望書と47都道府県の各会員組合による連名書を手渡した。

「鉄骨製作図問題の是正・解消に向けた要望書」では▽元請▽設計者・監理者▽CMr（コンストラクションマネジャー）を含む発注者▽監督官庁の4者ごとに要望事項を整理した。工期遅延などを想定した契約時の業務明確化やもの決め工程の順守、設計変更の抑制、発注側への指導・監督の強化などを盛り込んでいる。「鉄骨製作図の段階であれば、いくら手戻りさせても構わないという誤った風潮」の改善も求めた。計画変更申請の時期や回数を制限する将来的な法改正にも言及。組合構成企業へのアンケートを基にトラブル事例を集めた別紙資料も添付した。要望書は全構協公式サイトで公開し、各都道府県組合の要望活動にも活用してもらう。

国交省に要望を行った永井会長（右から2人目）らと国交省不動産・建設経済局の岩下泰善建設課長（同3人目）（全構協提供）



と強調。BIMについても「設計変更や手戻りが多発する現状では有効活用にながらない」と指摘した。

小貫武専務理事は、建設業に時間外労働上限規制が適用され「一緒に解決に向かえる良いタイミングが来たのではないかと要望に至った背景を説明。大竹良明副会長も「ここ数年は国も積極的に動いていると感じる。大きく変えるには今しかない」と述べた。

全構協

鉄骨製作図の円滑化へ要望

適切な費用・工期変更も

全国鐵構工業協会(全構協、永井毅会長)は、鉄骨製作図問題の是正・解消に向けた要望書をまとめ、元請け団体や関係官庁に提出した。鉄骨製作図の確定遅延や度重なる変更などは、鉄骨ファブリーケーター業界における長年の懸案となっていたが、建設業への労働時間規制の適用や国による適正取引の指導強化が進む今を好機と捉え、全国規模で行動を起こすことにした。全ての基準となる「もの決め工程」の確実な順守、変更が生じた場合の適切な代金追加や工期延伸などを求める。そもそもの根本的な原因として、設計変更自体の発生抑制も目指す。



永井会長

永井会長らは22日に都内各所を回り、日本建設業連合会、全国建設業協会、国土交通省不動産・建設経済局建設業課、中小企業庁事業環境部取引課で要望活動を展開した。図面

問題に関して、国に働き掛けを行うのは初めてという。今後、47都道府県の各協同組合などでも、行政機関や建設業団体などに同様の要望を実施していく。

全構協によると、鉄骨製作図の作成でもの決め工程が順守されず、施工者による承認・確定が遅延し、その後の鉄骨製作・建て方の期間も圧迫されている。また、鉄骨製作

で業務量が増大する一方、躯体重量の減少に伴って請負代金が減額される不合理もあるという。

鉄骨ファブ業界も、技術者不足やコスト上昇に伴う価格転嫁などの問題に直面。昔からの商習慣として、図面承認遅れなどのしわ寄せを鉄骨ファブ側で飲み込んできたが、いよいよ対応ができなくなってきたという。永井会長は22日に開いた記者会見で「休日

け、業界全体で改革に取り組みなければならぬ」と述べた。

元請けに対する要望は、▽下請け契約における鉄骨製作図にかかる業務の明確化▽もの決め工程の確実な順守▽確実な指示・チェックと図面管理▽設計変更等への対応——の大きく4項目となっている。

鉄骨製作図の作成は、下請け契約に基づく工事・製作の過程としての業務であり、鉄骨製作や建て方と何ら変わるものではないと指摘。内容変更や工期遅れに対して、契約変更による追加費用や工期延伸を求める。もの決め工程については、必ず作成の上、当該物件のリスクを見込んだ現実的に順守できる設定とするよう呼び掛ける。最新版の図面管理の徹底なども要望する。

監督官庁に対しては、製作図・施工図に関する実情を把握した上で、元下間の契約適正化の周知や指導・監督の強化などを要請。建築法制度・建築生産システム全体で設計変更を抑制する方策の検討にも言及し、確認申請手続きの適切な運用などを働き掛けていく。

協構 鉄骨製作図の承認問題 国交省などに迅速化要望

鉄骨製作図の承認遅れが常態化している問題で、全国鉄構工業協会（全構協）、会長・永井毅永井製作所社長）は22日、是正・解消に向けた要望活動を実施

コストの両面に関わる重大問題として危機感を示し、意思決定の迅速化や図面修正の低減を求めた。

鉄骨製作図は、設計会社がつくる「設計図」や、元請けのゼネコンによる「施工図」を基に鉄骨ファブが作成する。だが建設業界では

「2024年問題」により今年4月から残業規制が強化され、人手不足が深刻化。ファブに示す施工図の作成や提示が遅れがちで、変更も頻発している。

商流や意思決定の川下当たるファブ業者では、当初計画よりも製作図の作成が遅れる

約に反映されないことが課題となっている。今回の要望では①図面承認・確定が遅れないよう「もの決め工程」の順守徹底②設計図の不足・未確定箇所の解消と多用される設計変更・指示の削減③工程遅延や製作図の手戻りで発生した費用の下請け契約への反映④の3点を指摘。具体的な問題事例を挙げながら、業界全体での解決を求めた。

ことで工場の鉄骨製作期間や現場の工期が圧迫される事例が頻発。図面修正（手戻り）が何回も生じること



国交省に要望した永井会長（右から2人目）ら（衆院議員会館で）

で業務負荷が増すだけでなく、追加業務に見合った代金が下請け契



4月に国交省を訪れ斉藤国交相（右から3人目）に要望書を手渡す鶴田理事長（同2人目）

ゼネコンも入職者減少加速

これは従来なら公共性の高い案件で顕著で、施工ミスなどのニュースが話題になるたびに、承認が厳格化し、時間がかかる傾向があり、あるゼネコン関係者は「炎上しやすい世の中になっている」とが無関係ではない」と話す。

「取引適正化」訴えに国交省が文書通達

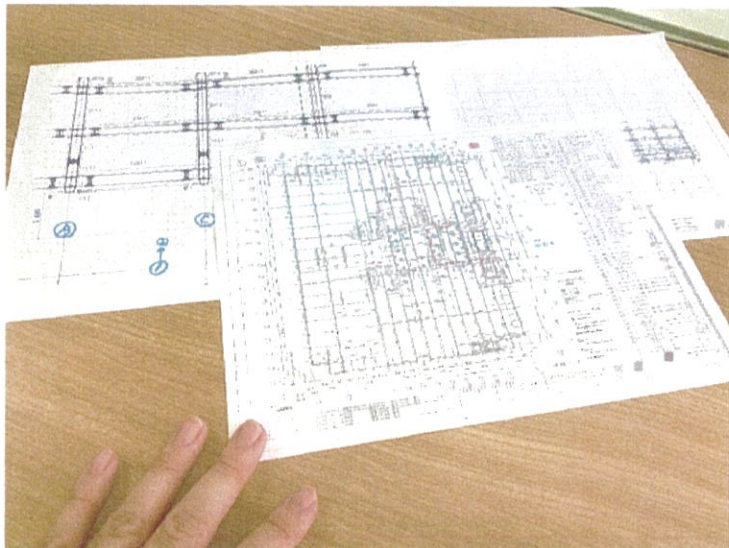
ル自体に承認にかかる期間を短縮するなど、真摯に向き合わなければならないことと強調し、統括した。施工段階でのこうした遅れは、その原因から当初の見積もり依頼の内容になかった発注が追加で出されるケースなどもあり、なしと発注者側に対し、工事と納品に遅延が生じている。鶴田理事長は「我々も働いていない追加製作・工事方針改革を進めて若者の入職や定着を図っていった支拂われるよう取引適正化を推進する」と訴えた。この訴えに国交省は、納品遅延などの対応を取った。今月1日、国土交通省は下請け企業への請負代金支払の適正化や施工管理の厳格化などを求める理連文書

「建築鉄骨ファブリケーター」など、福岡県鉄構工業会は今年4月、国土交通省を訪れ、契約期間の順守や追加費用の適切な支払いを発注者に促すよう、斉藤国交相に要望した。地元選出の秋野公造参院議員の仲介で訪問。鶴田理事長は「鉄骨業界は製作期間や追加費用で課題を抱えている」と説明し、「製作に必要な施工図は、発注者のゼネコンとの確認に時間を要し、遅れても納期は変わらないため残業や応接要請など過大な負担がかかっている」と現状を訴

ファブリケーター（鉄工所）が工務所を上げていた。注文された建材の製造を開始するまでの「施工図」をゼネコンに提出した後、その打ち返しがいまだに来ないというのだ。施工図が遅れても、納期を後倒しには対応できないことが多く、ファブリケーターは当初の打ち合わせよりも実質的に短い工期で建材を納品するのにならざるを得ない。残業や材料の余計な管理費用がかかるなど、施工図遅れの悪影響を合わせて負担を強いられるケースが慢性化している。こうした傾向は10年ほど前から全国的に見られるようになってきたという。改善を求めて声を上げた福岡県鉄構工業会（理事長・鶴田陽一）副理事長・中島康晴）に聞

福岡県鉄構工業会 「施工図承認遅れ」改善を要望

残業や管理費などコスト増加



ファブリケーターが製作した施工図、設計図を精緻に書き直したもののだが、この承認が遅れると製作期間が短くなり、大きな負担がかかる。

ファブリケーターへの負担深刻

品の保管費用などが発生するケースも少なくない。斉藤国交相に要望した福岡県鉄構工業会のみならず全国のファブリケーターが共通して同様の課題を抱えているという。

「人手不足」「承認厳格化」が理由

では、ゼネコンの施工図承認はなぜ遅れるのか。今回、鉄構新聞は匿名を条件に九州・沖縄のゼネコン（建設総合系）数社の施工管理技士や担当部署に取材を申し込んだ。あるゼネコン企業の施工管理技士は「確かに施工図の決定が遅れる傾向が10年ほど前から増えている」と回答。その原因として3つの要素を示した。それは①人手不足②働き方改革による実働時間の変化③施工主の承認の厳格化の問題だ。

このうち最も大きいのは人手不足で、人口減少の波が加速し、さまざまな職種と人材を取り合う中で入職者が減っている傾向がゼネコンでも見られるという。また、残業を前提とした受注体制だった企業文化に、近年の働き方改革で実働時間が減少し、処理が追いついていないというケースも数年前から見られるようになった。

ゼネコンとしても承認プロセスを早く終わらせたいという意識は同じだ。それでも遅れる原因として、ゼネコンが施工図を提出する前に承認を取る際に、打ち返しが遅れてくるケースが増えているという。

「施工図はどの段階で現れる？」

「ゼネコン」と呼ばれる建築物の施工不良は人の命を左右する影響力を持つ。施工図の承認は、その建築物の施工不良は人の命を左右する影響力を持つ。施工図の承認は、その建築物の施工不良は人の命を左右する影響力を持つ。



今林支部長らへ説明を行う岩永支部長(左奥)

今林支部長らへ説明を行う岩永支部長(左奥) 工業会理事長 (佐賀県鉄構

英樹副支部長 長のほか原田 理班、大分県建築士会の各 事務所を訪問し、鉄骨製作 図問題の是正・解消に向け た要望活動を実施した。 このうち県施設整備課で

建築士会などに要望書提出 市町村への活動に拡大 大分県鉄構工業会

大分県鉄 構工業会 (理事長 川野大成・ カマック社 長)は11日、 大分市の大 分県建築士 事務所協会、 大分県建設 業協会、大 分県施設整 備課技術管 理班、大分県建築士会の各 事務所を訪問し、鉄骨製作 図問題の是正・解消に向け た要望活動を実施した。 このうち県施設整備課で



大分県建築士事務所協会を訪問



大分県建設業協会にて

全 国 鐵 骨 工 業 協 会 ・ 九 州 支 部 (支 部 長 岩 永 洋 尚 ・ 岩 永 工 業 社 長) は 11 日、 鉄 骨 製 作 図 問 題 の 是 正 ・ 解 消 に 向 け た 要 望 活 動 を 目 的 に、 福 岡 市 博 多 区 の オ リ エ ン タ ル 福 岡 で 日 本 建 築 構 造 技 術 者 協 会 (略 称 ・ J S C A) 九 州 支 部 (支 部 長 今 林 光 秀 ・ 福 岡 構 造 部 長) と 会 談 し、 続 いて 九 州 地 方 整 備 局

J S C A 九 州 支 部 と の 会 談 で は、 今 林 支 部 長 の ほ か 木 村 正 人 副 支 部 長 (大 林 組 九 州 支 店 営 業 部 担 当 部 長) と 都 市 毅 事 務 局 長 (エ ス エ ー アイ 構 造 設 計)、 全 構 協 ・ 九 州 支 部 か ら は 岩 永 支 部 長 の ほ か 原 田 英 樹 副 支 部 長 (佐 賀 県 鉄 構 工 業 会 理 事 長

J S C A 九 州 支 部 は、 こ れ ま で も 福 岡 県 鉄 構 工 業 会 と 合 同 研 修 会 を 定 期 的 に 開

は、 市 町 村 に 対 し て 活 動 を 広 げ る こ と で 公 共 工 事 で の 対 応 が 広 が る と 助 言 が あ り、 同 工 業 会 は 理 事 に よ る 主 要 市 町 村 で の 要 望 活 動 に 拡 大 し て い る。 活 動 は 全 国 鐵 骨 工 業 協 会 が 作 成 し た 「鉄 骨 製 作 図 問 題 の 是 正 ・ 解 消 に 向 け た お 願 い」 を 基 に

川 野 理 事 長 の ほ か 松 崎 広 志 副 理 事 長、 神 崎 慶 副 理 事 長 が 出 席。 要 望 書 を 提 出 し た 3 団 体 で は 各 会 長 が 対 応 し

川 野 理 事 長 は 「現 状 に つ い て 理 解 を 得 る こ と が で き、 市 町 村 へ の 活 動 拡 大 が 必 要 と 分 か っ た。 引 き 続 き 理 解 を 求 め て い き た い」と 話 す。

全構協・九州支部

J S C A 九 州 ・ 九 州 地 整 と 面 談

鉄骨製作図の問題解消を求める

全 国 鐵 骨 工 業 協 会 ・ 九 州 支 部 (支 部 長 岩 永 洋 尚 ・ 岩 永 工 業 社 長) は 11 日、 鉄 骨 製 作 図 問 題 の 是 正 ・ 解 消 に 向 け た 要 望 活 動 を 目 的 に、 福 岡 市 博 多 区 の オ リ エ ン タ ル 福 岡 で 日 本 建 築 構 造 技 術 者 協 会 (略 称 ・ J S C A) 九 州 支 部 (支 部 長 今 林 光 秀 ・ 福 岡 構 造 部 長) と 会 談 し、 続 いて 九 州 地 方 整 備 局

に 移 動 し て 判 田 乾 一 建 設 部 長 と 面 談 し て 要 望 書 を 提 出 し た。 全 国 鐵 骨 工 業 協 会 (会 長 永 井 毅 永 井 製 作 所 社 長) が 作 成 し た 「鉄 骨 製 作 図 問 題 の 是 正 ・ 解 消 に 向 け た お 願 い」 を 基 に、 鉄 骨 製 作 図 の 承 認 ・ 確 定 が 遅 れ る こ と で 製 作 期 間 が 圧 迫 さ れ て い る こ と な ど を 説 明 し た。

一 理 事 (福 岡 県 鉄 構 工 業 会 理 事 長 ・ 共 栄 工 業 社 長)、 限 勇 一 郎 ・ 福 岡 県 鉄 構 工 業 会 事 務 局 長 が 列 席 し た。



判田建政部長(右)に要望書を手渡す岩永支部長

わ し、 構 造 設 計 に お け る 課 題 と フ ァ ア ブ に お け る 課 題 を 示 し て 解 決 策 を 検 討。 「設 計 の 意 図 伝 達 が 不 十 分 に な っ て い る」 「以 前 と 比 べ フ ァ ア ブ と 構 造 決 定 に 向 け て 動 く こ と が で き る」と 回 答 し、 図 面 問 題 は 鉄 骨 造 だ け で な く 建 設 業 全 体 の 問 題 と し て 捉 え て い る と 述 べ た。